

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌



特集

いよいよ今年夏!! みんなで創ろう!
ひろしま国際平和文化祭

2022年、いよいよ今年夏「ひろしま国際平和文化祭(ひろフェス)」が始まります!

“平和の種をまき、次世代を育てる” 芸術活動の場を広島の街に創り出していき、日常生活の中で平和への思いを共有する「平和文化」の振興を目指します。

ロゴも決まり、公式サイトもオープン! 音楽部門「ひろしまミュージックセッション」、メディア芸術部門「ひろしまアニメーションシーズン」それぞれで、アカデミー・コンペティションの募集開始です。

アニメーションシーズン、ミュージックセッション 公式サイトオープン! アカデミー&コンペティションの募集始まる!

昨年8月1日、開催1年前PRイベントでお披露目された「ひろしま国際平和文化祭(ひろフェス)」、2年に一度の開催を予定する新しいフェスティバルが今年夏、始まります。発表されたロゴは、市のクスノキと水の都・広島への流れをイメージし、とりどりの色は文化の多様性も表現しています。

音楽とメディア芸術それぞれに、育成し学び合う「アカデミー」、表現を競い合う「コンペティション」、顕彰や評価を行う「アワード」が設けられ、アカデミーでは育成とともに、市民が音楽やアニメーションを身近に学べるプログラムも用意されます。

メディア芸術部門は新たに「アニメーションシーズン」という名称で展開。アカデミー事業「ひろしまアーティスト・イン・レジデンス」では、新規プロジェクトを企画する世界のアニメーション作家等を招へいし、8月を含む約半年間に渡って広島市内に住んで制作活動しながら、「街かどアニメーション教室」など、学生や市民との交流プログラムに参加してもらいます。日常の中でクリエイターと身近に接してアニメーションを体験する機会は、とても貴重で楽しいものとなります。また、世界のアニメーション作家による優れた作品を募集する「コンペティション(環太平洋・アジア/ワールド)」を開催するほか、日本アニメを中心に環太平洋・アジア地域を対象に賞を授与するアニメーションアワードの受賞作品の上映も予定されています。広島国際アニメーションフェスティバルにより培われた広島のアニメーション文化を一層根づかせることが期待されます。

クスノキは生命豊かに枝と葉を広げて、川の流れはやがて海に注ぎ世界へ繋がっていきます。新しいフェスティバルが広島に根づき、広島から世界へ芸術と平和文化を発信する場となるよう育てていきたいものです。世界中の音楽とアニメーションを愛する人々とともに。

<開催概要> 2022年8月開催! 第1回ひろしま国際平和文化祭(略称ひろフェス)

- 【コンセプト】 “平和の種をまき、次世代を育てる”
「芸術」により、平和の種をまくと同時に次世代へつなげ「チャンスを与える」フェスティバル。
- 【開催期間】 2022年8月1日(月)~8月28日(日)
ひろしまミュージックセッション(8月5日~17日)、ひろしまアニメーションシーズン(8月17日~21日)を中心に多くのイベントを実施。地域の文化団体が主催する連携・応援イベントも行われる。
アーティスト・イン・レジデンスなど春から秋にかけて行われる事業もある。
- 【会場】 JMSアステールプラザほか(予定)

公式サイト ①ひろしま国際平和文化祭 <https://hiroshimafest.org/>
②アニメーションシーズン <https://animation.hiroshimafest.org/>
③ミュージックセッション <https://music.hiroshimafest.org/>



特集2 コロナ禍2年目の秋～メディア芸術イベント動向

昨年3月に発行した24号の特集「コロナ禍での広島メディア芸術の今、これから」継続企画として、コロナ禍2年目の秋を迎えたメディア芸術イベントの動向を記録しておきたいと考えました。

繰り返す感染の波や緊急事態宣言に翻弄された時期を経て、この秋は感染状況も落ち着き、リアルイベント開催も少しずつ増えてきました。昨年からの試行錯誤や知見を活かしてリアル開催できたところ、諦めたところ、ゲストはオンラインだったところなど様々です。

コロナ禍収束には今しばらくかかりそうですが、芸術文化の未来に向けて、それぞれの主催者が配慮や工夫をしながら実施されたこの秋の状況を、寄稿と編集部取材によりお伝えします。

コスカレードin神楽門前湯治村

コスカレード主催 saki

10月17日(日) / 神楽門前湯治村

10月17日、レトロな和風の町並みが特徴の神楽門前湯治村で、撮影を楽しめるコスプレイベントを開催しました。コロナ禍のため更衣室は設営しませんでした。宿泊の方は自室で更衣が可能だったため前日から参加された方も多く、料理や温泉・夜間の撮影を楽しんでいました。

イベント当日の村内は神楽鑑賞に来た方々と人気アニメや漫画のキャラクターのコスプレイヤーでにぎわい、通りすがりの家族連れや神楽団員が記念撮影をお願いするシーンも。湯治村の職員も仮装を行ったり安芸高田市市長も見学に訪れるなどアットホームな一日となりました。

神楽門前湯治村からも「ぜひまた開催を」とのことで、1月23日に2回目を開催*します。

*開催内容が変更となる可能性があるため、詳細は公式サイトからご確認ください。

●コスカレード公式サイト ⇒ <https://cosquerade.jp/>



Furec ARTS for the future! 2021 もえる!アニメコンペティション フクヤマニメFes

10月23日(土)・24日(日) / 福山駅前シネマモード

広島エリア最大級のアニメイベント『フクヤマニメ』(福山市×アニメ)。4回目となる今年、短編アニメーションのコンペティションが行われました。独自のセレクトによるアニメ映画上映に力を入れる福山駅前シネマモード(Furec)が、文化庁「ARTS for the future!」(コロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援)対象事業として、新たな才能発掘、若いクリエイターを応援する場づくりを目指して始めたものです。



審査員長のアニメ監督・羽原信義さん(福山市出身)、審査員のプロデューサー・笠間寿高さん(広島市出身)、特撮監督/脚本家・岡秀樹さん(三原市出身)、アニメ監督・山本蒼美さん(広島市出身)によって、3作品が各賞に選ばれました。

- ・ダイヤモンドグラミネーション 『「あい」をたべる』 渡辺悠太
- ・シャイングラミネーション 『分割列島』 木内康晴
- ・審査員特別グラミネーション 『アネモネ』 白岩晶紀

フクヤマニメ初日に行われた表彰式で各作品が上映され、審査員からは厳しくも温かい選評が発表されました。アニメ業界で活躍する広島県出身クリエイター陣から審査・直接講評してもらえる機会は、自主制作に取り組む人やアニメ業界を目指す人にとって貴重です。

文化は不要不急なものではなく、どんな状況にあっても次世代を担う新たなクリエイターを生み出し育てる「場」も非常に大切です。このコンペティションは地域のアニメーション文化に寄与するものとして期待されます。

●フクヤマニメ公式サイト ⇒ <https://fukuyamanime.jp/anime-competition/>

きれいにしたい。あしたのために。

サニクリーンは「レンタル」「リサイクル」などのシステムをとどして、資源の有効活用を目指し、人としぜんにやさしいサービスと商品をお届けしています。

0120-86-3290

お掃除・サービス・アスベスト・コーティング・商品・環境衛生用品のレンタル及び販売、ユニフォームのレンタル及び販売、クリーンサービス事業(清掃)、カーリース、アガアサービス

横川ゾンビナイト7開催後記

横川ゾンビナイト7開催委員会 栗河 瑞穂

10月25日(月)~31日(日) / 横川商店街一帯

昨年度に続きコロナ禍のため、横川ゾンビナイトの実施については様々な意見がありましたが、出来ることだけを積み上げて実施しようと準備を進めました。オンラインで全国と繋がる目玉企画があれば前向きな事業運営ができるのではないかと、面白い事例があれば参考(真似)にしたいとググり続けるもヒットせず悶々としていた時、ふと今回の横川ゾンビストーリー企画に思い至りました。

この企画は横川ゾンビにまつわる架空ストーリーを募集し、その世界観を商店街内で再現しようというもの。「ストーリーを募集!!」といっても応募してくれる人はいるのか? 世界観の再現ってどうするん? とあれこれ心配の声はありましたが、横川はきっと許してくれるはず。絵は早描きで有名な村上渚画伯に頼めば何とかなるじゃろうと突っ走ってみることに。結果、横川ゾンビストーリーは全国から78作品が集まり、村上画伯が不眠不休で絵を描き商店街各所に物語と絵を設置。この模様をホームページで紹介したところ、横川商店街過去最多のPV数となりサーバーもパンク寸前。全国のゾンビ愛好者に支えられる事業となりました。毎回運営陣がゾンビになるくらい過酷な現場だけど、やっぱりゾンビは素敵。来年はリアルでみんなに会えますように。



●横川ゾンビナイト公式サイト ⇒ <https://y-zombie.com/>

広島国際映画祭 片渕須直監督ティーチイン「映画に時を超えさせる」

11月19日(金)~21日(日) / NTTクレドホール、映像文化ライブラリー、横川シネマ

広島国際映画祭は、「ポジティブな力を持つ作品を、世界中から集めた映画祭。」をテーマに毎年11月下旬開催。コロナ対策のため名物フードコートは今年も無く、公開延期等の影響で映画祭上映が叶わない作品も。海外監督リモート参加など工夫しつつ、開催されました。

片渕監督ティーチインは昨年と同じ席数半分の50席限定、そこにファンが駆けつけました。監督登場時には、全員がクラッカーを鳴らしてキャリア40周年・映画祭参加10年目をお祝い! 内容は昨年に続き、清少納言が主人公の一人となる千年前を舞台にした次回作について。当時は疫病の流行が繰り返し、庶民から大臣までも亡くなる事態があり、『この世界の片隅に』で描かれたのと同じように、人の命が軽くなってしまう状況があったこと。『枕草子』の瑞々しい映像的描写には疫病については書かれてないけれど、他の文献や内裏発掘調査結果など様々なものと照らし合わせて補完すると、世界が立ち上がってくる素晴らしいヴィジュアル資料であること。人が書くもの話すことには、書き手・話し手の主観や想いが入る。読み手・聞き手がきちんと知識をもって、その意図を理解する態度が大切なのは、千年前の書物も被爆体験も変わらないと考えさせられます。コロナ前から企画が始まりコロナ禍の中で制作準備が続くこの作品、今の時代を経て、完成時にはどのように理解されるのか、期待が高まります。



●広島国際映画祭公式サイト ⇒ <http://hiff.jp/archives/9854/>

2年ぶりに映画館で開催! 広島こわい映画祭 — 観客もゲストも参加者全員が同じ目線で参加できる映画祭

広島こわい映画祭プロデューサー・県立広島大学教授 矢澤 利弘

11月27日(土) / 横川シネマ

広島こわい映画祭は広い意味でのこわい映画をテーマにした映画祭です。昨年は急遽オンライン開催となりましたが、今年の映画祭は11月27日に広島市西区の映画館、横川シネマで開催することができました。「こわい映画」というネーミングからホラー映画専門の映画祭だと誤解されることもありますが、本映画祭では人の感情を大きく揺さぶる力強い作品を広くこわい映画だと捉えています。応募作品は回を重ねるごとに増加、今回は公募で集まった多数の作品の中から11本の入選作を上映しました。

広島こわい映画祭ではゲストの方々と観客の皆様、そして実行委員の間に垣根はありません。それが広島こわい映画祭の開催理念のひとつです。今回は作品上映と上映後の関係者インタビューはもとより、前衛書道家の藤村満恵さんによる書道パフォーマンスや観客賞の授与などの趣向を取り入れ、よりお祭りの雰囲気強調した演出に挑戦しました。観客賞はいじめ問題をテーマにした田中聡監督の感動作「うまれる」が受賞しました。

コロナ禍が未だ収束しないなか、遠出できないお客様からの要望も強く、2022年2月18日(金)から20日(日)の3日間、今回の映画祭をオンラインでも開催することになりました。皆様のご参加をお待ちしております。



●広島こわい映画祭公式サイト ⇒ <https://www.hirokowa2021.com/>

◆Event Information

●大広重展

— 東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界

会期:2021年12月17日(金)～2022年2月6日(日)
 会場:広島県立美術館(広島市中区上幟町2-22)
 料金:一般1,400円、高・大学生1,000円、小・中学生700円
 開館時間:9:00～17:00/金曜日は19:00まで(入場は閉館30分前まで)
 休館日:月曜日
 問合せ:082-221-6246
<https://www.hpam.jp/museum/exhibitions/now.html>

●アニメーション 呪術廻戦展 後期:「京都姉妹校交流会」「起首雷同」編

会期:2022年1月13日(木)～1月23日(日)
 会場:PARCO FACTORY・広島PARCO 本館6F(広島市中区本通10-1)
 料金:一般1,700円、小学生700円
 開館時間:10:00～20:00/最終回は19:00まで(入場は閉場の30分前まで)
 休館日:会期中無休
 問合せ:082-542-2111
<https://art.parco.jp/hiroshima/detail/?id=777>
<https://twitter.com/animējūjutsuten>

●アニメサザエさんとともに50年

— エイケン制作アニメーションの世界 —

会期:2022年1月29日(土)～3月27日(日)
 会場:ふくやま美術館(福山市西町2-4-3)
 料金:一般1,000円、高校生以下無料
 開館時間:9:30～17:00
 休館日:月曜日(3月21日(月・祝)は開館、3月22日(火)は休館)
 問合せ:084-932-2345
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-museum/246741.html>
<https://eiken-anime.jp/50th/>

●PIXARのひみつ展 いのちを生み出すサイエンス

会期:2022年2月11日(金)～3月27日(日)
 会場:東広島市立美術館 2階展示室、3階展示室(東広島市西条栄町9-1)
 料金:一般1,500円、高大生1,200円*、小中学生800円*(*学生証提示)
 開館時間:9:00～17:00(入館は閉館30分前まで)
 休館日:会期中無休
 問合せ:082-430-7117
<https://hiroshima-chugoku.com/science-of-pixar/>

Yuiyama Group

税理士法人
ゆいやまグループ

731-5127 広島市佐伯区五日市5丁目9-16

TEL (082)923-1111 FAX (082)923-1124

<https://yuiyama.tkcfn.com/>

E-mail: info@yuiyama.com

メディア芸術関連 大学・短期大学の卒業制作展

●第25回 広島市立大学 芸術学部 卒業・修了作品展

会期:2022年2月9日(水)～2月13日(水)
 会場:広島市立大学芸術学部棟(広島市安佐南区大塚東3-4-1)
 開館時間:10:00～17:00
 問合せ:082-830-1504

●比治山大学短期大学部 美術科

第54回卒業制作展・第20回修了制作展

会期:2022年2月8日(火)～2月13日(日)
 会場:広島県立美術館 県民ギャラリー(広島市中区上幟町2-22)
 開館時間:9:00～17:00/11日(金・祝)は19:00まで
 問合せ:082-221-6246

●広島国際学院大学 情報デザイン学科

第15回 卒業研究・卒業制作展「にじ」

会期:2022年2月11日(金・祝)～2月13日(日)
 会場:JMSアステールプラザ 市民ギャラリー
 開館時間:10:00～19:00/13日(日)は17:00まで
 問合せ:082-244-8000/082-820-2345

※新型コロナウイルス感染症対策のため、事前の整理券入手、入場時に検温などの体調確認・マスク着用・アルコール消毒等を要請される場合があります。各施設の規定に従って、展示を楽しみましょう。臨時休館や会期変更の可能性もあります。詳しくは各施設のサイトをご覧ください。

◆この世界の片隅にNews!!

『この世界の片隅に』は11月12日に公開5周年、『この世界の(さらにはいくつもの)片隅に』は12月20日に公開2周年を迎えました。作品に触れる機会がもう少しずつ増えてきています。

●広島大学平和企画「芸術から平和を想う」片淵須直監督講演

原爆の日8月6日、東千田キャンパスで片淵監督の講演が行われました。

平和企画「芸術から平和を想う」について⇒

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/news/66183>

大学案内2021-2022⇒

https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho_press/kohoshi/daigakuannai

(越智光夫学長と片淵監督の対談掲載)

●第11回 周南「絆」映画祭

『この世界の(さらにはいくつもの)片隅に』上映

「感謝・発信 一期一映」をテーマに11月20日(土)～23日(火・祝)の期間で実施されました。『この世界の(さらにはいくつもの)片隅に』上映、11月20日には片淵須直監督のスペシャルトークを実施。

公式サイト⇒<https://shunan-eiga.com/>

●呉ポポロシアター『この世界の片隅に』里帰り上映

作品の舞台である呉での上映が12月24日(金)～1月13日(木)に行われます。12月25日(土)・1月4日(火)の上映後には片淵監督がリモート舞台挨拶!

公式Twitter⇒<https://twitter.com/kurepopolo1>

広島新銘菓

生もみじ



発行日:2022年1月8日 発行部数:5000部 発行:広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
 編集:NPO法人広島アニメーションシティ(HAC)・谷口重徳・松浦妙子・カワサキマミ
 レイアウトデザイン:カワサキマミ
 題字デザイン:岡川卓詩(名古屋芸術大学)

【紙面についてのお問合せ】

NPO法人広島アニメーションシティ事務局
 〒730-0011 広島市中区基町21-3 中国放送会館内
<http://hac.or.jp/> Email:hac-jimu@hac.or.jp

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています